

函館工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	化学英語		
科目基礎情報							
科目番号	0424	科目区分	専門 / 必修				
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2				
開設学科	物質環境工学科	対象学年	4				
開設期	前期	週時間数	2				
教科書/教材	話しながら学ぶ化学英語 (福馬淳子 著、廣川書店) / 英語で読む生命と環境 (講談社) など						
担当教員	上野 孝						
到達目標							
1. 専門用語を含む英語の長文を正確な日本語に訳すことができる。 2. 化学物質名を英語で正確に発音し、聞き取ることができる。 3. 化学に関するネイティブスピーカーの会話をおおむね理解できる。							
ループリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	専門用語を用いた英文を正確に和訳することができる。	専門用語を用いた英文を7割程度和訳することができる。	専門用語を用いた英文を和訳することができない。				
評価項目2	元素や無機・有機化合物を正確な英語で発音し、聞き取ることができる。	元素や無機・有機化合物を7割程度英語で発音し、聞き取ることができる。	元素や無機・有機化合物を英語で発音できず、聞き取ることができない。				
評価項目3	化学に関するネイティブスピーカーの会話をほぼ理解することができる。	化学に関するネイティブスピーカーの会話を6割程度理解することができる。	化学に関するネイティブスピーカーの会話を理解することができない。				
学科の到達目標項目との関係							
函館高専教育目標 E							
教育方法等							
概要	本講義では主に環境や生物について書かれた英文を正しい日本語に訳す訓練を行う。特に、適切な専門用語の使い方や関係代名詞を使う長文の訳し方などを学習する。リスニングでは、化学に関するネイティブスピーカーの会話を理解できるように、リーディングやスピーキングを繰り返し行う。これらを通じて、専門用語の正しい発音の仕方を身につける。						
授業の進め方・方法	本講義の履修に当たっては、低学年で学んだ英語の文法や構文について十分に復習しておくこと。本講義は環境問題や生物、化学に関する英文を正しい日本語に訳す訓練を行うので、配布したプリントにある未知の単語の意味を必ず調べてくること。また、ネイティブによる実用的な化学英語のリスニングをとおしてスピーキング能力を高める訓練を行うので、学んだ会話を何度も発音し、それを耳で聴くことで定着させる。						
注意点	教科書や補助教材を忘れたり、受講態度の悪い学生は減点する。 教育到達目標評価 定期試験80% (E-4)、課題20% (E-4)						
授業計画							
	週	授業内容	週ごとの到達目標				
前期	1stQ	1週	ガイダンス	化学英語で学ぶ内容について理解できる			
		2週	The Obligation to Endure	環境問題に関する本「沈黙の春」の原文を読みやすい日本語に訳すことで、長文読解ができる			
		3週	The Obligation to Endure	環境問題に関する本「沈黙の春」の原文を読みやすい日本語に訳すことで、長文読解ができる			
		4週	The Obligation to Endure	環境問題に関する本「沈黙の春」の原文を読みやすい日本語に訳すことで、長文読解ができる			
		5週	English names of inorganic compounds	元素名や無機化合物名を英語で正確に表現できる			
		6週	Body Temperature	華氏から摂氏への換算などの加減乗除を表現できる			
		7週	Body Temperature	華氏から摂氏への換算などの加減乗除を表現できる			
		8週	前期中間試験				
	2ndQ	9週	答案返却・解答解説 English pronunciation of organic compounds	・試験問題を通じて間違った箇所を理解できる ・有機化合物の名称を英語で正確に発音できる			
		10週	Safety Measures in the Laboratory	1つの単語から関連する単語を導き出すことができる			
		11週	Safety Measures in the Laboratory	1つの単語から関連する単語を導き出すことができる			
		12週	Terminology	接頭辞や接尾辞などから化学用語を系統的に表現できる			
		13週	Terminology	接頭辞や接尾辞などから化学用語を系統的に表現できる			
		14週	Terminology	接頭辞や接尾辞などから化学用語を系統的に表現できる			
		15週	前期末試験				
		16週	試験答案返却・解答解説	間違った問題の正答を求めることができる			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	15	85
専門的能力	10	0	0	0	0	5	15
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0